

2/21 (土) 駒場小学校・上野合小学校 3/1 (日) 川根小学校・沼前小学校

各校で閉校式 子どもたちの笑顔を育んできた学び舎に別れ

本号2ページから5ページにわたってご紹介したように、明治初期から現在まで、時代によって合併や制度により場所や名前を変えながら、約140年にわたって地域とともに子どもたちの笑顔を育んできた川根小学校、上野合小学校、駒場小学校、沼前小学校の4校が閉校となりました。

これにともない、2月21日には駒場小学校、上野合小学校で、3月1日には川根小学校、沼前小学校でそれぞれ閉校式が執り行われました。閉校式では各校とも町へ校旗を返還し、来場者全員で校歌斉唱。また、学校の歴史をスライドショーで振り返り、母校との別れを惜しみました。

川根小学校



歴代校長先生が児童たちにエールを送った



児童の司会で学校の歴史を振り返った

上野合小学校



校長先生と児童代表が小林町長に校旗を返還



上野合小学校への感謝の気持ちが記された行灯

駒場小学校



大洗高校マーチングバンド部「ブルーホークス」の演奏にあわせて校歌斉唱



閉校記念碑除幕

沼前小学校



沼前小学校オリジナルキャラクター NUMAちゃんSAKIちゃんが歴史を振り返る



全校生徒で踊る「恋のフォーチュンクッキー」

2/4 (水) 設立20周年を記念してプランター寄贈

今年、設立20周年を迎えた茨城県園芸リサイクルセンターより、その記念としてプランター400個が寄贈されました。

寄贈いただいたプランターは、農業資材をリサイクルした環境に配慮した製品で、町内の小中学校、幼稚園で花壇づくりに活用されます。



2/5 (木) 「ふくまるグランプリ」2年連続入賞



駒場で農業を営む江幡進さんが、平成26年度「ふくまる」グランプリにおいて優良賞に輝きました。江幡さんは昨年も同グランプリで優秀賞を取得しており、2年連続の入賞となりました。

「ふくまる」は茨城県が開発した水稻の新品種です。江幡さんによると「倒れにくいので作りやすく、冷めてもおいしいのが特徴」とのことです。耕作者、耕作面積ともに徐々に増えている茨城県の奨励品種です。

2/9 (月) 旬のイチゴをPR JA水戸茨城町いちご部会

JA水戸茨城町いちご部会（江橋昭一部会長）と小林町長、JA水戸の八木岡組合長など関係者が茨城県庁を訪問し、県内有数の生産地である茨城町のいちごをPRしました。

茨城町産の「とちおとめ」と「いばらキッス」を試食した橋本県知事からは、「パッケージを工夫し、高級品として出してはどうか。」などと、いいものをいい値段で買ってもらうためのアドバイスがありました。

JA水戸茨城町いちご部会では、資材に甘味料のステビアを使用したり、部会員全員がエコファーマー認定を受けたりするなど、品質の向上に日々取り組んでいます。



2/27 (金) 茨城町立志の集い開催 未来・翔（はばたく）・努力～夢に向かって歩み出せ～



「志」を発表する川上さん

明光中学校と青葉中学校の2年生が一堂に会し、「平成26年度茨城町立志の集い」が明光中学校体育館で開催されました。

両校の生徒たちで組織された立志の集い実行委員会の委員長、永盛正晴さん（明光中学校）は「両中学校の2年生が集まった立志の集いを意義あるものにしよう。」と集まった生徒たちに呼びかけました。この立志の集いでは、明光中学校からは川上悠大さん、青葉中学校からは海老沢亮太さんが「志」を発表。両者とも部活動を通して自分自身を見つめ直し、成長に繋がったエピソードを披露しました。

生徒たちは真剣な眼差しで式に臨み、大人への第一歩を踏み出したようでした。